

◆オリンピック・パラリンピックについて

①メダル受賞者には活躍をたたえる行事を希望。②東京大会への機運醸成、スポーツ団体への支援等の施策は。

地域文化 ①区民栄誉賞を創設。②都等と連携し機運醸成に取り組み。競技力向上に向けた取り組みを検討。

◆区財政について

①区財政の見直しは。②経常収支比率改善の評価は。③健全な財政基盤構築への取り組みは。④財政調整交付金の現状は。⑤法人住民税のさらなる国税化の影響は。⑥自主財源の確保は。

区長 ①厳しい。②一過性の事象。③事務事業の不断の見直し等に努める。副区長 ④都区の役割分担を反映した算定協議。⑤当面先送りされる見直し。⑥一丸で取り組む。

◆区政改革について

①区政改革へ向けた区長の決意は。②区民の理解と周知を。③今後の税収を含めた財政フレームは。④改革や効率化を推進するICT化を。

区長 ①サービス向上と持続可能性の両立を目指す。②実態を表すデータ等示し理解に努める。③次期アクションプランで示す考え。企画 ④情報化基本計画策定の中で検討。

◆空き家等の対策について

①空き家の発生抑制と適正管理は。②相談体制の強化を。③跡地を区の緑地や防災避難場所に。④条例制定を。

副区長 ①所有者と活用希望者のマッチングに取り組む。②関係団体と連携した相談体制を作る。③防災等の活用促進等検討。④空き家等対策計画素案の成案後に条例化。

◆みどり施策について

◆区政改革について

①改革への意気込みは。②認可保育所保育料改定見直し案の考え方は。③保育料の定期的な改定を。④保育料増収分の活用は。⑤道路整備への決意は。⑥光が丘駅バリアフリー化の取り組みは。⑦出張所跡施設の活用は。⑧国の

実現に取り組む。副区長 ⑦区民サービス向上につながる活用方策を検討。高齢施策 ⑧国の制度は課題もあり、当面いきいき健康券を活用。

◆産業振興について

①産業振興の基本的考え方と進捗状況は。②創業支援事業の状況と成果は。③「特

色ある商店街づくり」事業の現状は。④70周年を記念した商店街の取り組みへの支援は。副区長 ①区の役割は事業者の自立した活動への支援。意欲的事業者の支援推進。②セミナー等さまざまな事業実施。昨年度末までに108人創業。③今年度大泉と練馬で開始。地域の一体感や活性化への機

き。⑥保護者に丁寧な説明を。副区長 ①ゼロ作戦の完遂に全力挙げる。教育長 ②定員枠拡大は地区の状況を踏まえ進める。③施設整備等を中心に進める。④充実を図る。⑤非課税世帯は値上げせず中間所得世帯は抑える。⑥パブリックコメント等を実施。

◆ひとり親家庭の支援について

①ひとり親家庭の情報収集の一元化を。②支援施策の情報発信と周知を。

副区長 ①来年度設置予定の専管組織で集約。②メールマガジン活用等で強化を図る。

◆保育行政について

①区長の待機児童ゼロへの決意は。②地域格差の課題解消を。③都との連携は。④障害児の枠拡大を。⑤保育料改定は低所得者の値上げをせず中間所得層も額を抑えるべ

待機児童ゼロ作戦とひとり親支援の充実を

練馬区議会公明党

斉藤 静夫

◆70周年記念事業について

①記念事業の区民協働事業は新発想で。②既存事業への補助の拡充を。③訪日外国人等も楽しめる事業を継続的に補助し賑わいのまちを。④練馬区の良さをプロジェクションマッピング等活用しビジュアル的に全国にアピールを。

副区長 ①子どもが自立して生きる力を身に付ける教育等が必要。教育長 ②幼児教育の充実を重点施策に位置付け。教育費の負担軽減拡充を検討。③より身近な場所での支援が可能。④きめ細かい支援を実施。⑤事業の充実を努める。

◆区長の基本的考え方について

①子育て支援全体像の考え方は。②また、区のイメージをおとしめる行動に対して感想は。③職員育成について所見は。④有為な技術職員の確保と育成について見解は。

副区長 ①「情報化基本計画」素案の実現と充実について区の考えは。②情報セキュリティの強化について区の対応は。

◆職員の二層の育成でより良い区政の実現を！

①運用経費の削減で効度を耐震改修促進し活用促進。②区内業者育成と「担い手3法」について。①入札等の今後の取り組みは。②求人支援のサイトの開設について区の所見は。副区長 ①区内事業者の育成・競争性の担保の観点で踏まえ、先行事例を参考に検討。

副区長 ①地域全体の防災力を高めるには各拠点同士の連携が大切。区の考えは。②避難拠点の学校要員との連携の進め方は。③非常時の自主財源の確保も

等と連携しマッチング等の仕組みを検討。②引き続き検討。③大幅な人口増を伴う大規模な民間の開発時には、交通環境の改善等、まちのポテンシャル向上への取り組みを。副区長 ①総合的な子育て支援策の充実に取り組む。②地域の特性を生かしたまちづくり

◆防災について

①震災時の物資の集積と輸送は。②避難拠点等の危険度判定は。③把握困難な避難者の支援は。④災害時の広域応援活動に対する受援体制は。

副区長 ①物流拠点の被災等を想定し2か所目の拠点を検討。物資をスムーズに輸送する仕組み作りを進める。②安全確認を行い、避難拠点を開設後、応急危険度判定員の資格を持つ職員が速やかに判定。区役所も直ちに調査、災害時医療機関も優先的に判定を実施。③今後検討。④今年度ガイドラインの作成に着手。

◆人口増加におけるまちづくりについて

①子育て世代等の生産年齢人口世代が転入してくる魅

魅力ある街、練馬へ

練馬区議会公明党

柳沢 よしみ

◆新しい社会貢献制度について

①プロボノを発掘し、担い手支援やマッチング等の体制を整備すべき。②社会貢献活動への参加促進のためにポイント制度の導入を。

副区長 ①子ども食育の重要性を認識し、食育の推進を図る。②食育の推進を図る。③食育の推進を図る。④食育の推進を図る。

◆地域医療の充実について

①東京都地域医療構想は今後、東京都保健医療計画にどう反映されるのか。②病院整備と医療環境充実の方法は。③回復期リハビリテーション病棟の役割と周知徹底を。

地域医療 ①病床数増を期待。②現状を調査し課題等を検討。医療環境整備基金等を活用し病床を確保。③急性期を脱した患者が在宅に戻るまでの医療を提供。区報等で周知。

◆不燃金属類の資源化について

現状と今後の方向性は。環境 さまざまな観点で検討。大江戸線延伸について。①今後の取り組みは。②隣接区市との連携もまちづくりの上で大事。区の考えは。副区長 ①大江戸線延伸推進基金を積極的に活用し、区の責任を果たす。②情報共有等を行い一層連携に努める。

も食堂開設時や運用時等に、区は社会福祉協議会と連携してさらに応援すべき。③子ども食堂に対し、庁内関係部署は、連携を強化すべき。④非婚の親に対する保育所・幼稚園等の保育料へのみなし寡婦控除の実施を。

副区長 ①運営団体の自主的な活動を尊重。②支援の充実を努める。③今以上に緊密に連携。教育長 ④保育料の見直しに合わせ検討。

◆公園施策について

①公園の安全対策を。②泥んこになって遊べるような特色ある公園の設置を。③老朽化した区立公園のトイレの改修・新設を。

副区長 ①安全安心パトロールで巡回等を実施。②整備に向け用地の確保に努める。③清掃を徹底。老朽化に応じて必要な改修を進める。

一般質問(要旨)

◆区長の基本的考え方について

①子育て支援全体像の考え方は。②また、区のイメージをおとしめる行動に対して感想は。③職員育成について所見は。④有為な技術職員の確保と育成について見解は。

副区長 ①「情報化基本計画」素案の実現と充実について区の考えは。②情報セキュリティの強化について区の対応は。

◆職員の二層の育成でより良い区政の実現を！

①運用経費の削減で効度を耐震改修促進し活用促進。②区内業者育成と「担い手3法」について。①入札等の今後の取り組みは。②求人支援のサイトの開設について区の所見は。副区長 ①区内事業者の育成・競争性の担保の観点で踏まえ、先行事例を参考に検討。

副区長 ①地域全体の防災力を高めるには各拠点同士の連携が大切。区の考えは。②避難拠点の学校要員との連携の進め方は。③非常時の自主財源の確保も

等と連携しマッチング等の仕組みを検討。②引き続き検討。③大幅な人口増を伴う大規模な民間の開発時には、交通環境の改善等、まちのポテンシャル向上への取り組みを。副区長 ①総合的な子育て支援策の充実に取り組む。②地域の特性を生かしたまちづくり

◆防災について

①震災時の物資の集積と輸送は。②避難拠点等の危険度判定は。③把握困難な避難者の支援は。④災害時の広域応援活動に対する受援体制は。

副区長 ①物流拠点の被災等を想定し2か所目の拠点を検討。物資をスムーズに輸送する仕組み作りを進める。②安全確認を行い、避難拠点を開設後、応急危険度判定員の資格を持つ職員が速やかに判定。区役所も直ちに調査、災害時医療機関も優先的に判定を実施。③今後検討。④今年度ガイドラインの作成に着手。

◆人口増加におけるまちづくりについて

①子育て世代等の生産年齢人口世代が転入してくる魅

魅力ある街、練馬へ

練馬区議会公明党

柳沢 よしみ

◆新しい社会貢献制度について

①プロボノを発掘し、担い手支援やマッチング等の体制を整備すべき。②社会貢献活動への参加促進のためにポイント制度の導入を。

副区長 ①子ども食育の重要性を認識し、食育の推進を図る。②食育の推進を図る。③食育の推進を図る。④食育の推進を図る。

◆地域医療の充実について

①東京都地域医療構想は今後、東京都保健医療計画にどう反映されるのか。②病院整備と医療環境充実の方法は。③回復期リハビリテーション病棟の役割と周知徹底を。

地域医療 ①病床数増を期待。②現状を調査し課題等を検討。医療環境整備基金等を活用し病床を確保。③急性期を脱した患者が在宅に戻るまでの医療を提供。区報等で周知。

◆不燃金属類の資源化について

現状と今後の方向性は。環境 さまざまな観点で検討。大江戸線延伸について。①今後の取り組みは。②隣接区市との連携もまちづくりの上で大事。区の考えは。副区長 ①大江戸線延伸推進基金を積極的に活用し、区の責任を果たす。②情報共有等を行い一層連携に努める。

も食堂開設時や運用時等に、区は社会福祉協議会と連携してさらに応援すべき。③子ども食堂に対し、庁内関係部署は、連携を強化すべき。④非婚の親に対する保育所・幼稚園等の保育料へのみなし寡婦控除の実施を。

副区長 ①運営団体の自主的な活動を尊重。②支援の充実を努める。③今以上に緊密に連携。教育長 ④保育料の見直しに合わせ検討。

◆公園施策について

①公園の安全対策を。②泥んこになって遊べるような特色ある公園の設置を。③老朽化した区立公園のトイレの改修・新設を。

副区長 ①安全安心パトロールで巡回等を実施。②整備に向け用地の確保に努める。③清掃を徹底。老朽化に応じて必要な改修を進める。

◆区長の基本姿勢について

問 平成27年度決算について所見は。②「子育てしやすい街」から「子どもを産み育てやすい街」へとさらなる前進を。所見は。③山積する課題の解決に向け小池都知事との連携は。④駅や商業施設等、利便性が高い場所への期日前投票所の設置を。

行革を断行し、教育・子育て支援の財源に

練馬区議会民進党・無所属クラブ 藤井 ともり

区長 ①改革ねりまを具体化し成果を上げた。これからは本番。②未来に向けて成長するまち・練馬区をつくりたいとの決意。ビジョンに基づき総合的に政策を展開。③緊密に連携し引き続き重要課題の解決に取り組む。選挙管理 ④セキユリテイや財源等について検討を深める必要がある。

◆出張所の跡施設活用について

問 ①跡地の活用を見出す前に、不用となった施設については売却や民間業者への有償

◆核兵器廃絶について

問 ①安倍政権は、米国の核兵器先制不使用宣言に反対しているが、区の考えは。②核兵器廃絶のため、非核都市宣言の立場で国に意見を。③核廃絶の国際署名に賛同を。

◆区政改革について

問 ①区政改革は国の「骨太方針」の社会保障改悪路線と同じ流れではないか。②国の悪政の言いなりか、くらし守る防波堤の役割か、区の立場を。③区政改革は計画ありきでなく、区民の切実な願いに沿う立場で。④財政危機を示す資料は、不確定な要素は省き、明確な数字で示せ。

区長 ①行政の責任は区民サービスの充実と持続可能性の確保。区政改革 国の方針

貸し付けを進めよ。②いわゆるハコモノにかかるコスト情報を、区民にとって分かりやすく公表を。

◆生活保護の不正受給について

問 ①収入未申告や預金隠し等については、マイナンバー制度の導入で改善の余地があるか。②行政だけで不正受給を見抜くのは限界がある。不正受給通報のための通報制度の設置を。③家賃滞納者への

◆高年齢者施策について

問 ①地域包括ケアシステム確立を5年後の目標に定めているが、進捗状況は。②区内特別養護老人ホームの定員数と入所待機者数は。整備について所見は。③元気高齢者が活動できる仕組みをどのように作っていくのか。

◆高年齢者施策について

問 ①地下鉄有楽町線沿線地域への設置を目指すとしているが、整備が遅れている理由は。また、今後の整備予定は。②新宿区や板橋区のように体調不良児対応型お迎えサービスの実施を。

◆病児・病後児保育事業について

問 ①定員は1千86床、待機者数は本年5月末現在1千979人。公有地の活用等で施設整備を促進。③今年度から高齢者と地域団体をつなぐはつらつシニアクラブを実施。また、介護現場で活動できる仕組みづくりを進める。

◆出張所の機能転換について

問 ①出張所のあり方は、職員削減にありきでなく、高齢化社会にふさわしいものに再検討を。②区民サービス後退必至の2017年6月末の自動交付機廃止は延期を。

◆子ども

問 ①出張所の廃止は事務取扱件数の低下による。跡施設は地域の意見を踏まえ活用を進める。②今後、住民票

以上が1歳児のため、0歳から2歳を重点に施設整備等を

対応は。福祉 ①重複受給の防止に一定の効果。不正受給発見の効率は限定的。②不正受給通報を福祉事務所で受け付けていることをホームページ等で周知。③区が直接家主に支払う方式に改めるよう指導。

◆高年齢者施策について

問 ①地域包括ケアシステム確立を5年後の目標に定めているが、進捗状況は。②区内特別養護老人ホームの定員数と入所待機者数は。整備について所見は。③元気高齢者が活動できる仕組みをどのように作っていくのか。

◆高年齢者施策について

問 ①地下鉄有楽町線沿線地域への設置を目指すとしているが、整備が遅れている理由は。また、今後の整備予定は。②新宿区や板橋区のように体調不良児対応型お迎えサービスの実施を。

◆病児・病後児保育事業について

問 ①定員は1千86床、待機者数は本年5月末現在1千979人。公有地の活用等で施設整備を促進。③今年度から高齢者と地域団体をつなぐはつらつシニアクラブを実施。また、介護現場で活動できる仕組みづくりを進める。

◆出張所の機能転換について

問 ①出張所のあり方は、職員削減にありきでなく、高齢化社会にふさわしいものに再検討を。②区民サービス後退必至の2017年6月末の自動交付機廃止は延期を。

◆子ども

問 ①出張所の廃止は事務取扱件数の低下による。跡施設は地域の意見を踏まえ活用を進める。②今後、住民票

◆子ども

問 ①出張所の廃止は事務取扱件数の低下による。跡施設は地域の意見を踏まえ活用を進める。②今後、住民票

以上が1歳児のため、0歳から2歳を重点に施設整備等を

一般質問(要約)

◆区政改革について

問 独立70周年を契機に、広報をさらに戦略化し区民参加と協働を進めるべき。所見は。区長 70周年記念事業は将来のさらなるイメージアップの取り組みにつなげる。

◆災害対策について

問 ①貫井・富士見台地区密集事業の進め方は。②新たな防火規制地域の指定は。③区の最大被害想定は。④区内医療機関の災害時役割分担を。⑤透析医療の確保は。⑥順天堂練馬、練馬光が丘病院の改築を機に災害時医療の充実を。

◆教育長

①協力医療機関との調整に時間を要している。平成29年4月開設に向け準備中。②導入については慎重に検討。

◆震災対策について

問 ①熊本地震では、想定超え2倍の避難者。区は人口増だが、避難拠点減となる学校適正配置計画の影響は。②避難拠点の役割は。③区は在宅避難が基本。耐震診断助成は新耐震基準へ拡大を。④予算が有効に使われていない耐震改修助成は、他区に倣い助成額を上げる等、拡充を。

◆危機管理

①適正配置を行った光が丘地域では区要員の増等での拠点としての機能を維持。②共助・公助の拠点。技監 現時点では考えていない。④現行の助成制度を基本に、一層の耐震化の促進に努める。

◆協働について

問 ①協働推進会議の設置を。②地域支援推進員のフォロワーに練馬E+カレッジ卒業生登用を。③推進員の周知を。④区内施設の区内団体予約優先枠を。⑤団体登録制度、ポータルサイトで交流促進を。

◆地域文化

①取り組みを進める中で検討。②卒業生等地域の方々と積極的に連携。④今後、方法について検討。⑤活動情報の発信等できる生涯学習・文化芸術サイトを構築。

◆都市農業について

問 ①新たな基本計画策定は。②税制改正の働きかけ強化を。③都市農業を生かしたまちづくりを。④農地の防災面の機能周知で農地保全の機運醸成を。⑤西部地域に農の風景育

◆都市農業について

問 ①引き続き国等からの情報収集に努める。②さらに強く国に働きかける。③農地が持つ多様な機能を生かし取り組む。④農園で防災訓練を実施。⑤今後検討。

◆子ども

問 ①主権者教育の取り組み。②小学生選挙体験教室等。③駅前や大規模施設に投票所の設置を。④移動期日前投票所の導入を。⑤共通投票所の設置を。⑥練馬区若者会議の創設を。

◆選挙管理

①投票の重要性を。②学

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆子どもから高齢者まで

住み良い練馬に！

◆障害者対策について

問 ①居住確保の対応は。②ユニバーサルスポーツフェスティバルの取り組み内容は。福祉 ①グループホーム増設等。地域文化 ②区内スポーツ団体等の協力で競技を実施。

◆地域振興について

問 ①出張所空きスペースの効果的整備を。②街かどケアカフエの事業の拡充と整備を。

◆子ども

問 ①主権者教育の取り組み。②小学生選挙体験教室等。③駅前や大規模施設に投票所の設置を。④移動期日前投票所の導入を。⑤共通投票所の設置を。⑥練馬区若者会議の創設を。

◆選挙管理

①投票の重要性を。②学

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆子どもから高齢者まで

住み良い練馬に！

◆障害者対策について

問 ①居住確保の対応は。②ユニバーサルスポーツフェスティバルの取り組み内容は。福祉 ①グループホーム増設等。地域文化 ②区内スポーツ団体等の協力で競技を実施。

◆地域振興について

問 ①出張所空きスペースの効果的整備を。②街かどケアカフエの事業の拡充と整備を。

◆子ども

問 ①主権者教育の取り組み。②小学生選挙体験教室等。③駅前や大規模施設に投票所の設置を。④移動期日前投票所の導入を。⑤共通投票所の設置を。⑥練馬区若者会議の創設を。

◆選挙管理

①投票の重要性を。②学

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆子どもから高齢者まで

住み良い練馬に！

◆障害者対策について

問 ①居住確保の対応は。②ユニバーサルスポーツフェスティバルの取り組み内容は。福祉 ①グループホーム増設等。地域文化 ②区内スポーツ団体等の協力で競技を実施。

◆地域振興について

問 ①出張所空きスペースの効果的整備を。②街かどケアカフエの事業の拡充と整備を。

◆子ども

問 ①主権者教育の取り組み。②小学生選挙体験教室等。③駅前や大規模施設に投票所の設置を。④移動期日前投票所の導入を。⑤共通投票所の設置を。⑥練馬区若者会議の創設を。

◆選挙管理

①投票の重要性を。②学

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

◆地域文化

①都に実務的かつ具体的な協議を要請。②子ども家

※1 トリアージ：負傷者を重症度、緊急度などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めること。 ※2 SNS：Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略。社会的なつながりを作り出すインターネット上のサービスのこと。 ※3 SNS：Social Networking Service(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の略。社会的なつながりを作り出すインターネット上のサービスのこと。 ※4 ブランチ：支店や拠点。

◆児童相談所の設置について
 ①児童福祉法改正により、特別区毎に設置となったが、区の認識は。②都が行っている専門職の確保や広域的な対応業務等により今まで以上の業務強化となる。設置には慎重な対応を求めるが所見は。

①広域行政と基礎的自治体業務との協働のあり方や職員の人材育成等を含め、周到な検討が必要。②速やかに実務的かつ具体的な協議が行われるように要請し、児童相談体制の充実に取り組む。

◆コミュニティデザインについて
 地域の課題が多様化している。行政と町会・自治会と住民の地域力の醸成が必要。区の考えは。

◆副区長 社会福祉協議会等と連携して、意欲ある区民の活動を支援し団体同士のつながりづくりを取り進む。さらに、各分野の団体と町会・自治会とのつながりの構築に努める。◆地域包括ケアシステムの構築について
 ①高齢者相談センター機能をより高めていくための体制は。②元気高齢者や介護サービス事業者等は社会資源として

◆高齢者相談センター機能の活用は。①精神通院医療費制度の利用者は昨年度1万1千4百人、5年で25%増加。②関連部署が連携し、障害者地域自立支援協議会での意見を聞いて

◆子ども自転車安全対策について
 ①都内で、乳児をおんぶした、自転車による死亡事故も発生。保護者への啓発を。②子ども用ヘルメットの着用は重要。保護者への啓発推進を。区の所見は。

◆精神疾患者の地域ケアについて
 ①乳幼児健診時にリー

◆暮らしと経済について
 ①安倍政権の経済政策は社会保障削減と巨額の負担で景気を悪くする。反対せよ。②公契約条例などで区民の所得を底上げし、消費を増やす対策に積極的に取り組む。

◆産業経済
 ①国は経済対策として補正予算を閣議決定、施策を積極的に展開。②中小企業者支援など柱に補正予算を準備。条例制定の考えはない。

◆介護保険改悪について
 ①総合事業は、要介護認定を受ける権利を保障するなど、必要な介護が受けられぬ事態招く。②福祉用具貸与や生活援助の保険給付外しは重度化と医療費増を招く。区の認識は。③制度改悪による実態調査し、国に反対意見を。また、区として対策を打て。

◆高齢施策
 ①総合事業は介護保険制度内で実施。サービス

◆若者支援について
 ①ねりまサポステへ支援

①区内の精神疾患者の状況と傾向は。②地域との関係づくりや支援体制が必要。区の所見は。

ひと、まち、福祉は、コミュニティから

練馬区議会民進党・無所属クラブ 白石 けい子

◆高齢施策
 ①本所に医療・介護連携推進員を配置し、支所にケアマネジャーを増員。役割分担見直し相談を充実。②今年度、はつらつシニアクラブや街かどケアカフェを実施。さらに仕組みづくりを進める。

◆子ども自転車安全対策について
 ①都内で、乳児をおんぶした、自転車による死亡事故も発生。保護者への啓発を。②子ども用ヘルメットの着用は重要。保護者への啓発推進を。区の所見は。

◆子ども自転車安全対策について
 ①都内で、乳児をおんぶした、自転車による死亡事故も発生。保護者への啓発を。②子ども用ヘルメットの着用は重要。保護者への啓発推進を。区の所見は。

◆精神疾患者の地域ケアについて
 ①乳幼児健診時にリー

◆暮らしと経済について
 ①安倍政権の経済政策は社会保障削減と巨額の負担で景気を悪くする。反対せよ。②公契約条例などで区民の所得を底上げし、消費を増やす対策に積極的に取り組む。

◆産業経済
 ①国は経済対策として補正予算を閣議決定、施策を積極的に展開。②中小企業者支援など柱に補正予算を準備。条例制定の考えはない。

◆介護保険改悪について
 ①総合事業は、要介護認定を受ける権利を保障するなど、必要な介護が受けられぬ事態招く。②福祉用具貸与や生活援助の保険給付外しは重度化と医療費増を招く。区の認識は。③制度改悪による実態調査し、国に反対意見を。また、区として対策を打て。

◆高齢施策
 ①総合事業は介護保険制度内で実施。サービス

りづくりに取り組む。さらに、各分野の団体と町会・自治会とのつながりの構築に努める。◆地域包括ケアシステムの構築について
 ①高齢者相談センター機能をより高めていくための体制は。②元気高齢者や介護サービス事業者等は社会資源として

◆高齢者相談センター機能の活用は。①精神通院医療費制度の利用者は昨年度1万1千4百人、5年で25%増加。②関連部署が連携し、障害者地域自立支援協議会での意見を聞いて

◆子ども自転車安全対策について
 ①都内で、乳児をおんぶした、自転車による死亡事故も発生。保護者への啓発を。②子ども用ヘルメットの着用は重要。保護者への啓発推進を。区の所見は。

◆精神疾患者の地域ケアについて
 ①乳幼児健診時にリー

◆暮らしと経済について
 ①安倍政権の経済政策は社会保障削減と巨額の負担で景気を悪くする。反対せよ。②公契約条例などで区民の所得を底上げし、消費を増やす対策に積極的に取り組む。

◆産業経済
 ①国は経済対策として補正予算を閣議決定、施策を積極的に展開。②中小企業者支援など柱に補正予算を準備。条例制定の考えはない。

◆介護保険改悪について
 ①総合事業は、要介護認定を受ける権利を保障するなど、必要な介護が受けられぬ事態招く。②福祉用具貸与や生活援助の保険給付外しは重度化と医療費増を招く。区の認識は。③制度改悪による実態調査し、国に反対意見を。また、区として対策を打て。

◆高齢施策
 ①総合事業は介護保険制度内で実施。サービス

◆区長の基本姿勢について
 ①憲法違反の安保法による自衛隊の新任務はやめさせるべきでは。②非核宣言自治体と連携し核兵器廃絶に向け積極的に働きかけよ。③「新しい自治の創造」を目指すなら、自治基本条例の制定を。◆福祉施設の防犯対策について
 ①大災害時、協定自治体からの応援職員受け入れ体制は。②防災訓練の区民周知を。◆危機管理
 ①今年度、ガイドラインの作成に着手。②区ホームページ等で予定を案内、写真付きで訓練の様子を紹介。③区内三警察と連携し、民間施設も含めて取り組む。

◆スポーツを通じた共生社会について
 ①今年度のユニバーサルスポーツフェスティバルの継続を。◆地域文化
 今回の成果を踏まえ、順次内容を充実。

◆子ども自転車安全対策について
 ①都内で、乳児をおんぶした、自転車による死亡事故も発生。保護者への啓発を。②子ども用ヘルメットの着用は重要。保護者への啓発推進を。区の所見は。

◆精神疾患者の地域ケアについて
 ①乳幼児健診時にリー

◆暮らしと経済について
 ①安倍政権の経済政策は社会保障削減と巨額の負担で景気を悪くする。反対せよ。②公契約条例などで区民の所得を底上げし、消費を増やす対策に積極的に取り組む。

◆産業経済
 ①国は経済対策として補正予算を閣議決定、施策を積極的に展開。②中小企業者支援など柱に補正予算を準備。条例制定の考えはない。

◆介護保険改悪について
 ①総合事業は、要介護認定を受ける権利を保障するなど、必要な介護が受けられぬ事態招く。②福祉用具貸与や生活援助の保険給付外しは重度化と医療費増を招く。区の認識は。③制度改悪による実態調査し、国に反対意見を。また、区として対策を打て。

◆高齢施策
 ①総合事業は介護保険制度内で実施。サービス

一般質問(要約)

◆医療環境整備について
 ①都の病床配分から供用開始まで10年以上かかるが、所見は。

◆医療費削減について
 ①区内のMRI、PET、CT等の台数は。②疾病等の検査ができる体制整備が重要。所見は。③団塊世代が75歳以上となる2025年に医療費は増大。特定健診後の特定保健指導も重点課題。現状および今後の方向性は。

◆歯科健診について
 ①成人歯科健診の対象者、受診率の状況、口腔ケア事業の内容は。②受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

◆歯磨きの取り組みについて
 ①歯科健診の無料化は産婦も対象とすべき。②小中学校においての指導の現状は。

◆がん・脳梗塞・心筋梗塞の予防対策強化を！
 ①がん検診の受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

◆歯科健診について
 ①成人歯科健診の対象者、受診率の状況、口腔ケア事業の内容は。②受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

◆歯磨きの取り組みについて
 ①歯科健診の無料化は産婦も対象とすべき。②小中学校においての指導の現状は。

◆市民自治の実現を求めて
 ①「実態調査」の結果では、みどりの目標を達成は。②みどりの目標を達成は。③みどりの目標を達成は。

◆シチズンシップ教育について
 ①都知事選挙は参議院選挙より若者の投票率が下がった。市民性を高めるシチズンシップ教育ができていない。

◆石神井公園駅周辺のまちづくりについて
 ①都市計画道路や市街地再開発事業では、住民どうしが議論し共有する場が必要。②高層ビルと大型道路が、緑豊かな石神井公園の玄関口にふさわしい風景と考えるのか。

◆下石神井のまちづくり構想について
 ①区西部地域のまちづくりの遅れに対し道路整備等の進め方は。②狭あい道路の幅員や隅切りの確保についての所見は。③公園の整備を進めるべき。所見は。④商店街活性化の具体的な取り組みは。

◆西武新宿線連続立体交差化で練馬区と杉並区の連携は。
 ①道路や鉄道等の整備を進めながら、美しい住宅都市を築く。◆都市計画道路の整備を進め沿道まちづくりを推進。②道路幅員整備の助成の活用等に対応。③みどりの保全策や公園化等を検討。④美術館やアニメスタジオ等、地域資源と連携し推進。⑤緊密な協議を行い、立体化の早期実現に取り組む。

◆がん・脳梗塞・心筋梗塞の予防対策強化を！
 ①がん検診の受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

◆歯科健診について
 ①成人歯科健診の対象者、受診率の状況、口腔ケア事業の内容は。②受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

◆市民自治の実現を求めて
 ①「実態調査」の結果では、みどりの目標を達成は。②みどりの目標を達成は。③みどりの目標を達成は。

◆シチズンシップ教育について
 ①都知事選挙は参議院選挙より若者の投票率が下がった。市民性を高めるシチズンシップ教育ができていない。

◆石神井公園駅周辺のまちづくりについて
 ①都市計画道路や市街地再開発事業では、住民どうしが議論し共有する場が必要。②高層ビルと大型道路が、緑豊かな石神井公園の玄関口にふさわしい風景と考えるのか。

◆下石神井のまちづくり構想について
 ①区西部地域のまちづくりの遅れに対し道路整備等の進め方は。②狭あい道路の幅員や隅切りの確保についての所見は。③公園の整備を進めるべき。所見は。④商店街活性化の具体的な取り組みは。

◆西武新宿線連続立体交差化で練馬区と杉並区の連携は。
 ①道路や鉄道等の整備を進めながら、美しい住宅都市を築く。◆都市計画道路の整備を進め沿道まちづくりを推進。②道路幅員整備の助成の活用等に対応。③みどりの保全策や公園化等を検討。④美術館やアニメスタジオ等、地域資源と連携し推進。⑤緊密な協議を行い、立体化の早期実現に取り組む。

◆がん・脳梗塞・心筋梗塞の予防対策強化を！
 ①がん検診の受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

◆歯科健診について
 ①成人歯科健診の対象者、受診率の状況、口腔ケア事業の内容は。②受診率向上のため「個別」案内が有効。所見は。

平成28年第三回定例会の一般質問は、9月7日・8日・9日の3日間、12名の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会后、概ね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。